

武蔵野美術大学教員  
による小企画

# 部屋と

# 庭 隔たりの 形式

石川卓磨

後藤映則

小林耕平

杉浦藍

鈴木基真

富井大裕

森田浩彰

11.30  
mon

-12.19  
sat

2020

※都合により、会期等が  
変更になる場合があります。

武蔵野美術大学  
美術館 展示室I

10:00-18:00

(土曜 17:00閉館)

日曜日休館

入館無料

主催 | 武蔵野美術大学 美術館・図書館 企画協力 | 松浦寿夫 (武蔵野美術大学 美学美術史研究室教授)

私たちが生活する「部屋」には、家具や日用品といった見なれた事物が遍在すると同時に、目に見えない時間や記憶が折り重なり、私的な気配が漂います。そして内的な部屋と接する「庭」は、外的空間へと接続する中間域であり、外と内への視線が交じりあう曖昧な領域として、世界と私たちを不確かに隔ちます。部屋は内的な小宇宙を包みこむ容れ物のように、庭はその先にある外界との距離を確かめる隙間のように、

私たちの世界をかたどる形式として、存在しているといえるでしょう。本展では「部屋と庭」をめぐり想起される様々な事象——日用品と記憶、時間と痕跡——などをひとつの起点として、現代作家7名の多様な表現が集います。彼らの作品によって織りなされた「隔たりの形式」は、見過ごしがちな日常の風景のなかで、大きく揺らぎ、かたちを変えていく世界の姿を再認識するひとつの試みとなりえるかもしれません。

武蔵野美術大学教員による小企画

# 部屋と庭 隔たりの形式

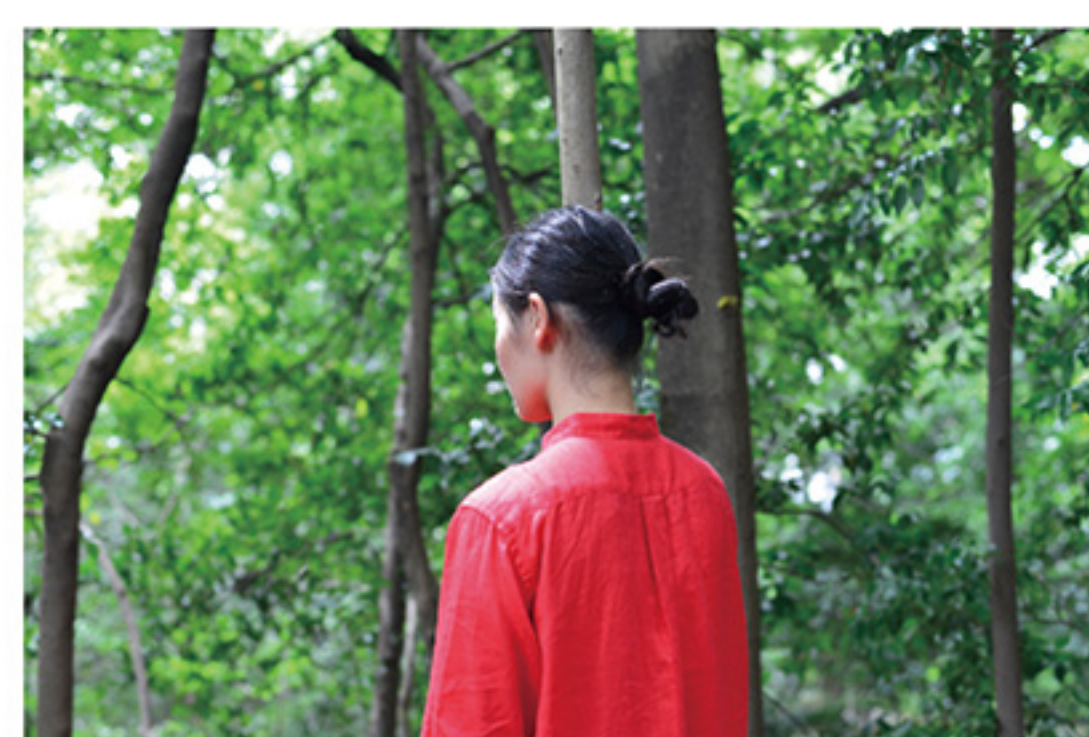
Room and Garden—The Form of Distance



小林耕平《東・海・道・中・膝・栗・毛》2016年  
ビデオ・インスタレーション 撮影：中川周  
©Kohei Kobayashi, Courtesy of Anomaly



富井大裕《NR (踊るノート) #18》2019年  
便箋、クリップ、釘 29.5×23.0×7.0cm 撮影：柳場大  
©Motohiro Tomii, Courtesy of Yumiko Chiba Associates



石川卓磨《小説の中の私 (I in the Novel)》2019年  
HD video with sound 17分12秒  
©Takuma Ishikawa, Courtesy of TALION GALLERY

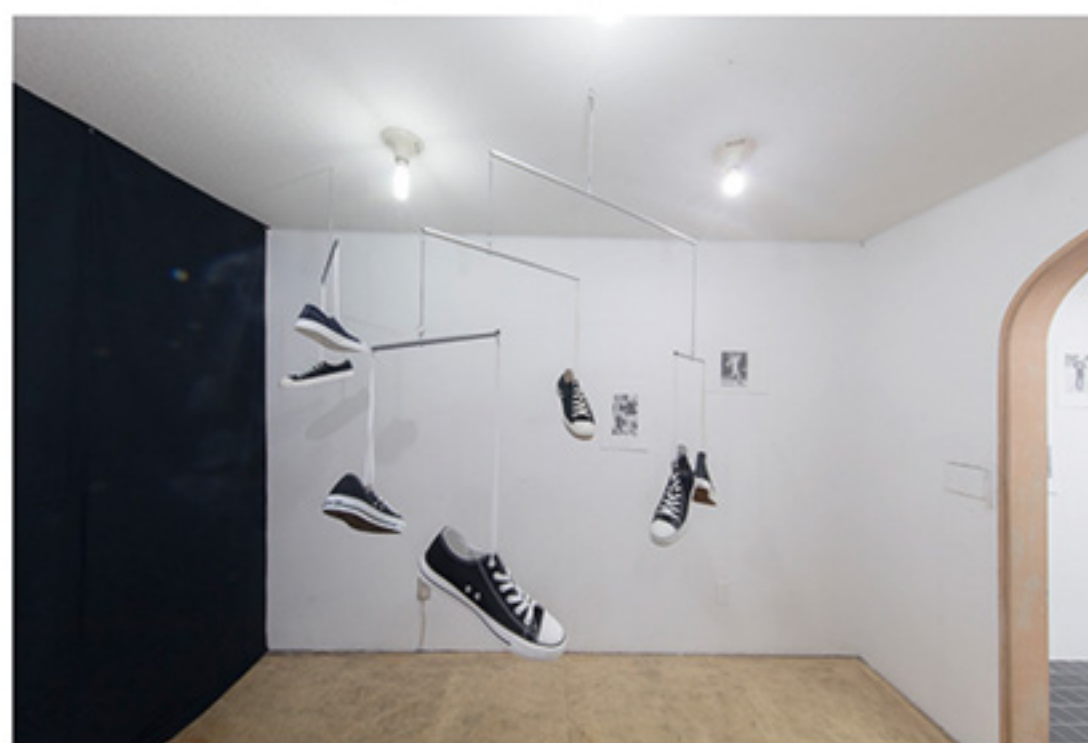


鈴木基真 untitled 2007年  
木彫、台座 720.0×270.0×175.0cm  
撮影：加藤健  
©Motomasa Suzuki, Courtesy of Takuro Someya Contemporary Art

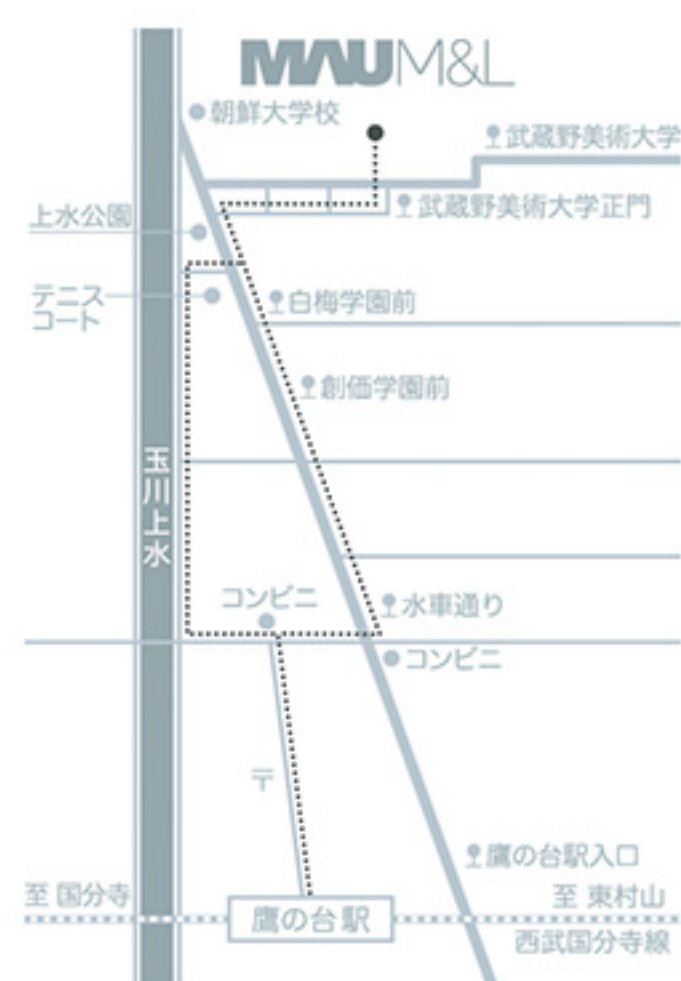


後藤映則《toki- WALK #01》2015年  
ナイロン 10.0×41.0×41.0cm

森田浩彰《Mobile Catalogue (Converse All Star)》2017年  
ミクストメディア サイズ可変 撮影：松尾宇人  
©Hiroaki Morita, Courtesy of AOYAMA|MEGURO



杉浦藍《Spatial drawing》2017年  
スチール、合板、石膏、塗料、壁紙  
撮影：加藤健  
©Ai Sugiura



## 交通アクセス

- ◆西武国分寺線「鷹の台」駅下車、徒歩18分
  - ◆国分寺駅北口徒歩3分、西武バス「武蔵野美術大学」行きまたは「小平営業所」行きに乗り、「武蔵野美術大学正門」下車（バス所有時間約20分）
  - ◆立川駅北口（5番乗り場）より立川バス「武蔵野美術大学」行きに乗り、「武蔵野美術大学」下車（バス所有時間約25分）
- ※お車でのご来館はご遠慮ください。

武蔵野美術大学 美術館・図書館  
Musashino Art University Museum & Library  
〒187-8505 東京都小平市小川町1-736 Tel:042-342-6003  
<https://mauml.musabi.ac.jp> Twitter: mau\_m\_l

## 同時期開催展覧会

2020年11月16日[月]–12月19日[土]

- ・十時啓悦—— 樹木と漆と暮らし
- ・Door is Ajar ドアは開いているか 山本直彰展
- ・所蔵品展—— ふたしかなデザイン

2020年10月26日[月]–12月19日[土]

- 民俗資料室ギャラリー展示28
- ・紙・木・藁にみる祈りの造形